

1.避難所等の環境整備に関する専門委員会

■ 目的

- 石川県地震被害想定の見直しや令和6年能登半島地震における課題や教訓、社会的な要請を踏まえ、実効性のある地域防災計画の改定を行うため、下記観点で小松市における避難所等の環境整備について専門家による協議・検討を行う。

①避難所の安全性と避難者数に応じた配置②スフィア基準を指標とした避難環境③公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実

2.専門委員会委員

■ 委員の構成と専門分野

- 以下の委員により「避難所等の環境整備に関する専門委員会」を構成する。

表1. 専門委員会委員

区分	氏名	分野	役職等
委員長	青木 賢人	避難行動（自然地理学）	金沢大学 人間社会研究域 地域創造学類 准教授
	二木 秀樹	地域における避難所運営	小松市町内会連合会 会長
委員	高野 明美	女性視点を取り入れた避難所運営	小松防災士の会 副会長
	表 幹也	子ども・障がい者・高齢者避難支援（保健福祉専門職）	社会福祉法人南陽園
	下徳 こづえ	外国人の避難支援	小松市国際交流協会 会長
	荒木 達人	指定避難所（学校）施設管理者	小学校・中学校 校長会
	山口 和博	地域企業との連携	小松商工会議所 専務理事
	第1回～第2回：吉本 光希 第3回～第4回：半田 祐介	物資支援流通体制（指定公共機関（輸送））	佐川急便株式会社 加賀営業所 所長
	片岡 俊明	流通備蓄による物資供給	イオンリテール株式会社 中部カンパニー エリア政策推進グループ 北陸エリア担当部長
	宇野 義和	土砂災害関係行政機関	石川県南加賀土木総合事務所 技術次長



写真1. 第1回



写真2. 第2回



写真3. 第3回

3.開催状況

■ 専門委員会開催の概要と協議内容

- これまで全4回の委員会を開催し、小松市地域防災計画の改定に向けた協議・検討を行った。

表2. 開催状況

回	日程	協議内容
1	令和7年 6月30日	<ul style="list-style-type: none">地震被害想定の見直し地域防災計画の改定と進め方検討事項<ul style="list-style-type: none">ア 避難者数に応じた避難所の適正配置（避難所適正配置手法の提示）イ 避難環境の整備と被災者支援の強化（環境整備と支援強化手法の提示）ウ 公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実（基本方針、必要数量検討手法の提示）
2	令和7年 8月29日	<ul style="list-style-type: none">第1回専門委員会の振り返り検討事項<ul style="list-style-type: none">ア 避難者数に応じた避難所の適正配置（想定避難者数、避難所の収容率）イ 避難環境の整備と被災者支援の強化（避難所の現状把握、避難所カルテの項目）ウ 公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実（基本方針、必要数量）地域防災計画の改定に向けた課題整理
3	令和7年11月21日	<ul style="list-style-type: none">第2回専門委員会の振り返り検討事項<ul style="list-style-type: none">ア 避難者数に応じた避難所の適正配置（想定避難者数、避難所の収容率、指定避難所の見直し）イ 避難環境の整備と被災者支援の強化（現状把握のための意見照会結果）ウ 公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実（基本方針、必要数量、備蓄集配能力）県計画（R7.9）の公表を踏まえた地域防災計画改定の課題整理
4 （書面開催）	令和8年 1月 9日	<ul style="list-style-type: none">第3回専門委員会の振り返り検討事項<ul style="list-style-type: none">ア 避難者数に応じた避難所の適正配置（指定避難所の見直し、新たな避難場所）イ 避難環境の整備と被災者支援の強化（被災者支援の強化策の考え方）ウ 公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実（基本方針・必要数量、備蓄集配能力）地域防災計画の骨子案

4.検討内容

専門委員会における検討の3本柱

避難者数に応じた避難所の適正配置

避難環境の整備・被災者支援の強化

公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実